

哲學研究

第五百七十二號

平成十三年十月十日發行

彙報

『シスター・キャリー』と初期シカゴ学派……井上俊

志向性……中畑正志

——現在状況と歴史的背景——(二)

九品来迎図研究における顕密体制論の実効性……大原嘉豊

「現実科学」の理念と困難……宮武実知子

——ハンス・フライヤーの社会学について——

京都大學文學部内
京都哲學會

京都哲学会規約

- 一、本会は広義における哲学の研究とその普及を図ることを目的とする。
- 二、右の目的のために左の事業を行う。
 - (一) 会誌「哲学研究」を発行する。
 - (二) 毎年公開講演会を開く。
 - (三) 随時研究会を開く。
- 三、本会の事業を遂行するために委員若干名をおく。委員は京都大学大学院文学研究科の旧哲学科系所属教官の有志、および委員会において推薦したものに委嘱する。
- 四、本会は賛助員若干名をおく。賛助員は会員の中から委員会が推薦する。
- 五、本会は会員組織とし、会員には資格の制限を設けない。学校・図書館・其他の団体は団体の名を以て入会することができる。
- 六、会員は年会費一、〇〇〇円と会誌代五、〇〇〇円（数冊分）を前納する。
- 七、会員は会誌の配布を受け会誌に予告する諸種の行事に参加することができる。
- 八、本会は事務所を京都大学文学部内におく。
- 九、規約の改正は委員会の決定による。

福根中中徳筒田杉佐櫻氣川片苧内内岩井乾伊伊池芦蘆赤
谷立村畑永井中村木井多添柳阪山井城上 藤藤田名田松
研俊正宗清紀靖丞芳雅信榮直勝惣見 敏邦和秀定 明
茂介春志雄忠行彦平雄子介一行利七一俊郎武行三道宏彦

京都哲学会委員

御水松寶藤藤
牧谷田月田田
克雅素 正和
己彦二誠勝生

会
告

京都哲学会公開講演会予告

日時 十一月三日(土) 午後一時半
会場 京都大学文学部新館一階

- 一、水とワイン——スコラ神学者の〈哲学〉……………京都大学助教授 川 添 信 介
- 一、動物のこころを探る……………京都大学教授 藤 田 和 生

※ 右終了後京大会館において懇親晩餐会(パーティー形式)を開きます。(会費五千円)

※ 所属機関長宛出張許可依頼状御入用の方は京都哲学会までお申出下さい。

平成十三年九月

京 都 哲 学 会

系共通科目

講	義		
教授	内井 惣七	科学哲学入門	※
助教授	伊藤 和行	科学史入門	※
	〔基礎演習Ⅰ〕		
講師	内井 惣七	論理学演習	※

科学哲学科学史

	〔特殊講義〕		
教授	内井 惣七	空間と時間の哲学	〔共〕
助教授	伊藤 和行	現代科学史	〔共〕
講師	古川 安	二十世紀の科学と社会	〔共〕
講師	齊藤 光	性と生命の学問・科学史	〔共〕
講師	齊藤 了文	工学の知識の解明	〔共〕
	〔演習〕		
教授	内井 惣七	科学哲学演習	〔共〕
助教授	伊藤 和行	科学史演習	〔共〕
助教授	伊藤 和行	科学史演習	〔学〕
助教授	内井 惣七	科学哲学科学史セミナー	〔共〕
助教授	伊藤 和行		

前号目次

徐幹の人間観……………池田秀三
 ヘーゲル、もう一つの感性論
 (Ästhetik)……………岩城見一
 —「物」と「ラフフィクション」—
 自由と法則……………脇坂真弥
 —カントの道徳論を手掛りにして—
 〈社会的なもの〉と〈個人的なもの〉
 における非決定性の関係論……………野村明宏
 —規律社会から管理社会への移行をめぐる—

次号論文予告

ヒュームの奇跡批判……………伊藤邦武
 トマス・アクィナスの
 確実性について……………川添信介
 インド密教の二諦説……………苦米地等流
 —五次第(Pancakrama)の幻身・光明・双入—
 聖餐をめぐるヘーゲルとルター
 —啓蒙と神秘の間……………小林亜津子

会 告

一、本会は会員組織とし会員には資格の制限を設けません。入会希望の方は京都市左京区吉田本町京都大学文学部内京都哲学会（振替口座〇一〇二〇一一四〇三九 京都哲学会）宛に年会費一、〇〇〇円と会誌代五、〇〇〇円（教冊分）をお支払下さい。又会員への会誌送付、バックナンバー購入及び発売に關する一切は東京都千代田区麹町二一六―七創文社（振替口座〇〇〇二二〇一〇一九二四七二）宛に願います。

一、会員の転居・入退会の事務及び編輯事務の一切は京都哲学会宛に御通知下さい。

一、本誌の編輯に關する通信・新刊書・寄贈雜誌等は本会宛にお送り下さい。

京 都 哲 学 会

〒六〇六一八五〇一
京都市左京区吉田本町
京都大学文学部内
〇七五七五三二七四七

平成十三年十月五日 印刷
平成十三年十月十日 発行

編輯兼 京 都 大 学 文 学 部 内
發行人 京 都 哲 学 会
編輯委員

代表

内 山 勝 利
片 柳 榮 一
御 牧 克 己
寶 月 誠

發 売 所 株 式 創 文 社

久 保 井 浩 俊

〒一〇二一〇〇八三
東京都千代田区麹町二一六―七
電話 〇三―三二六三一七―一〇一
振替 〇〇二二〇〇一九二四七二

印刷所 暁印刷株式会社

註 文 規 定

一、本誌の御注文はすべて代金送料共（一部、送料七
三円）前金にてお送り下さい。

平成十三年十月五日印刷
平成十三年十月十日發行

THE JOURNAL OF PHILOSOPHICAL STUDIES

THE TETSUGAKU KENKYU

NO. 572

October

2001

Articles

Sister Carrie and the Early Chicago School of Sociology

.....Shun INOUE

Intentionality in a Historical Perspective (Part I)

.....Masashi NAKAHATA

A Discussion on the Possibility to apply Kenmitsu-taisei-ron to the Study of Kubon-raigo-zuYoshitoyo OHARA

The Ideals and Difficulties of "Wirklichkeitswissenschaft"

—About the Sociological Theory of Hans Freyer

..... Michiko MIYATAKE

Notes

Published by
THE KYOTO PHILOSOPHICAL SOCIETY
(The Kyoto Tetsugaku-Kai)
Kyoto University
Kyoto, Japan

ISSN 0386-9563

雑誌コード 06427-10 特別定価 本体 2,500円 + 税